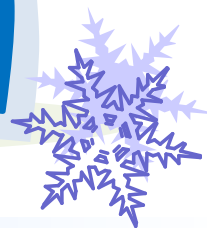


思川だより

令和6年2月22日 第87号



南摩ダム 進捗状況

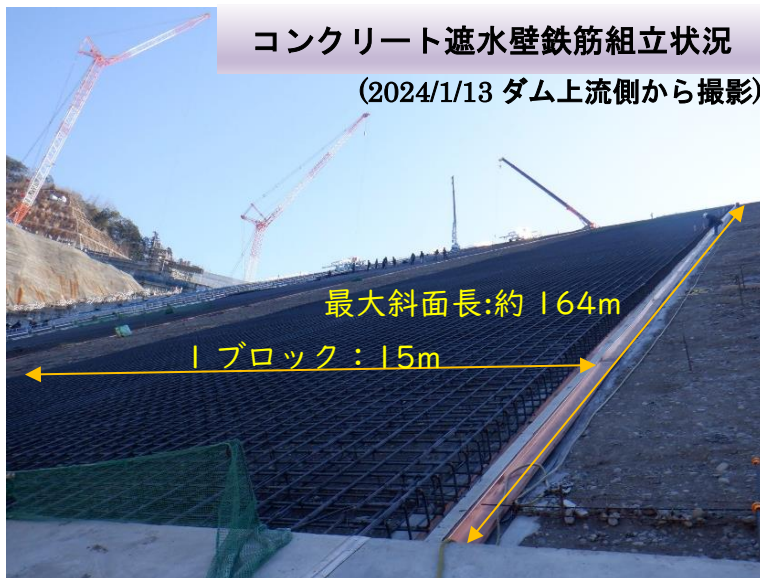
11月9日よりコンクリート遮水壁の打設を開始しました。

コンクリート表面遮水壁には鉄筋を配置します。鉄筋組立は打設に先立ち行いますが、間近で見ると右の写真の通り壮大です。斜面の長さが最も長いダム中央部付近の打設ブロックでは、1ブロックあたりの鉄筋量が約100トン、そしてコンクリート量は1000m³を超えます。

洪水吐きでは、12月をもってシュート部のコンクリート打設が完了し現在、上流側の流入部・導流部、下流側の減勢工の施工を実施しています。竣工後の洪水時にダムからの放流水を安全に流下させるため、引き続き安全かつ高品質な施工を行ってまいります。

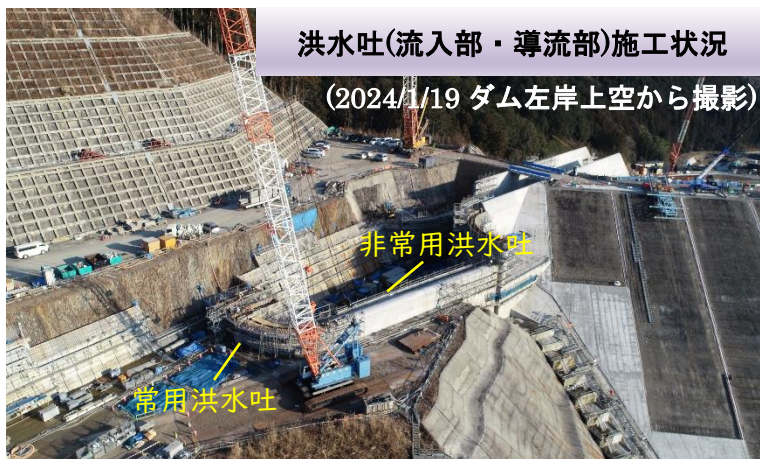
また、選択取水塔と管理棟を結ぶ約100mの長さの橋を架けますが、年明けより鋼製の桁架設を実施しています。本橋はダム管理開始後に取水設備の維持管理を行う際に利用する橋となりますので、安全に車両が通行できるよう施工を行っていきます。

ダム下流側の施工も本格化しております。ダム竣工に向けて、引き続き安全な施工を進めてまいります！



コンクリート遮水壁鉄筋組立状況

(2024/1/13 ダム上流側から撮影)



洪水吐(流入部・導流部)施工状況

(2024/1/19 ダム左岸上空から撮影)



取水塔管理橋架設状況

(2024/1/19 ダム左岸上空から撮影)

選択取水塔

送水路を守るサージタンクってどんな設備？

南摩ダムから黒川・大芦川へ水を補給する際に使う送水路の途中にはサージタンク（調圧水槽）という設備があります。今回は、そんなサージタンクの仕組みについて解説します。

まず、右図の①は正常に水が流れている時の送水路内の様子を表しています。管内を流れる水は、ポンプによる押す力によって管内のどの場所でもほぼ一定の速度で流れます。

この状態から、不測の事態でポンプが急停止した場合が②の状態です。進み続けようとする速い水のグループと、ポンプの力を受けられなかった遅い水のグループに分かれる現象（水柱分離）が起こります。同時に、分かれたグループの間は水が少なくなり圧力が低下し、グループ同士を引き付ける力（負圧）が発生します。この力によって 2 つの水のグループが衝突し、大きな衝撃が水路内に発生することを「水撃作用」と呼び、水路やポンプを損傷させてしまう恐れがあります。

この現象への対策として、③のように送水路から分岐させた水槽にあらかじめ水を貯めておき、水が2つのグループに分かれてしまう瞬間に、隙間を埋めるよう水を補充することで、水の衝突を防いでいます。この水槽こそがサージタンクであり、水撃作用による衝撃から設備を守る非常に重要な設備です。

サージタンクは南摩ダム管理棟から県道を挟んだ山側の平地に位置し、現在は水槽部分を施工中です。南摩ダム展望台付近からも地面にポツカリと水槽の縦穴が見えるので、南摩ダムへ見学に来た際にはぜひ探してみてください。



水撃作用の仕組みとサージタンクの役割

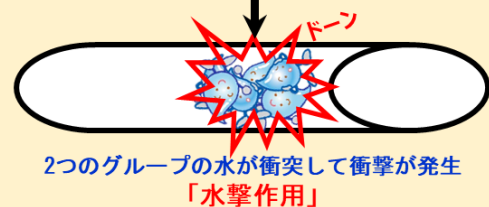
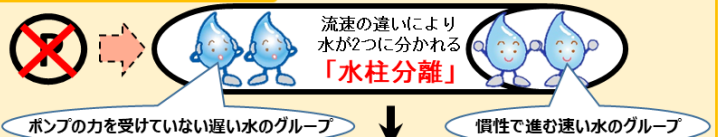
① 送水路の中を正常に水が流れているとき

ポンプが水を押す力
(正の圧力)

みんな一定の速度で
進んでいるよ



② ポンプが急停止したとき



③ サージタンクがあると



グループ間の隙間へ水を補充



令和6年思川開発建設所安全祈願祭を開催しました

令和6年1月12日(金)鹿嶋神社にて令和6年思川開発建設所安全祈願祭が執り行われました。

今年の安全祈願祭で上げられた祝詞の内容には、思川開発事業の着実な進捗、地域の活性化、全工事の無事故・無災害及び職員とその家族の健康の願いが込められました。また、鹿嶋神社に祀られている武甕槌命・誉田別命は交通安全、武道上達、厄除開運などの幅広いご利益があるとのこと。 (右の写真は安全祈願祭当日の様子になります。)



ダム見学会

12月16日(土)に上南摩自治会の方々、1月31日(水)に上南摩小学校の方々に向けてダム見学会を開催しました。

当日は、ダムサイト上流部・下流部、南摩注水工を見学して頂き、最盛期の建設現場を地元の方々にご覧になっていただきました。



上南摩自治会



上南摩小学校

再発見！鹿沼の魅力（第25回）

『鹿沼の花市 4年ぶりに開催！』

今回は1月27日(土)に4年ぶりに開催された「花市」の紹介です。「花市」の歴史は古く、平安初期に定期的に開かれていた市が始まりで、当初は今宮神社の境内で開かれていたとの事です。

神社の拝殿に「市神社」が安置され、1年の商売繁盛、家内安全、健康祈願を参拝しましたが、年々「市」が盛んになるにつれ、境内だけでなく参道にまで露店が出るようになり、販売の品物も縁起物、植木、食物、雑貨などに変わり、「市」の呼び名も「花市」と言われるようになりました。車の往来が増えたため、昭和48年からは場所を末広通りに移し、毎年1月第4土曜日に開催しています。今年は天候にも恵まれ、ダルマやお飾りなどの縁起物、植木、食べ物など200店程の露店が軒を連ね、久々に1月の鹿沼のイベントとして朝から大勢の人で賑わっていました。



大小カラフルなダルマが並び

下

野

か

る

た

より

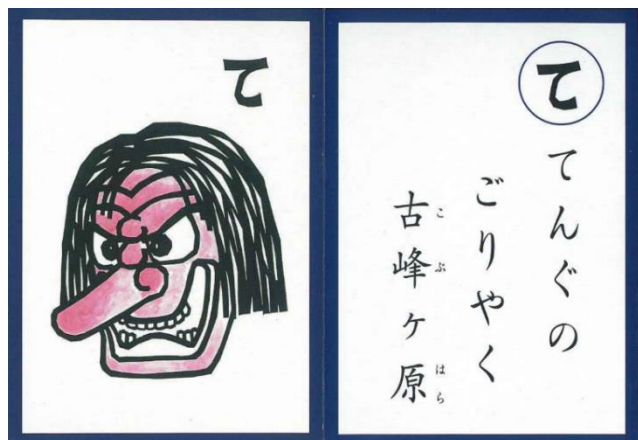
栃木県内の地元かるたを用いて、

様々な歴史・文物を紹介するこのコーナー。

引き続き、『下野かるた』(栃木県文化協会発行)からの紹介です。

てんぐの ごりやく 古峰ヶ原

鹿沼市に位置する古峰ヶ原では、古
くより修験者の修行の場となってお
り、その中心となる古峰神社は、火防
の神として信仰される日本武尊を
御祭神としております。古峰神社は別
名「天狗の社」と呼ばれ、神社内参籠室
などには巨大な天狗や鳥天狗の面が
かけられております。



能登半島地震による被災地支援について

震災に際し、被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。

皆様の安全と被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

令和6年1月1日16時頃発生した能登半島地震により、水資源機構は被災地への給水支援のため、保有する「可搬式浄水装置」を石川県珠洲市に派遣し、断水が続く珠洲市の方々に欠かせない水を毎日お届けしています。当建設所からは職員2名を被災地に派遣し、現地支援を行っています。

今後も引き続き、関係機関からの要請に応じて、被災地への支援を行って参ります。

編集後記

○2024年のカレンダーを作成しました。右上 QR コードと思川開発建設所のホームページからダウンロードして活用ください。(※管理所等での配布は実施しておりません。)

○年が明けてからあっという間に2ヶ月が過ぎようとしておりますが、いかがお過ごしでしょうか。まだまだ寒い日が続きますので、体調管理には十分気をつけてお過ごしください。



カレンダー



お知らせ

▼見学会の実施や工事状況等の詳細については、お電話またはHPをご覧ください！

▼「思川だより」に関するご意見・ご要望を募集しています！お気軽に下記連絡先までお寄せ下さい！

編集・発行



独立行政法人水資源機構 思川開発建設所
〒322-0305 栃木県鹿沼市口栗野 839-2
T e l (0289) 85-1110 F a x (0289) 85-1211
<https://www.water.go.jp/kanto/omoigawa/>

思川開発

検索



HP



X

(旧 Twitter)